

なかつか 亮



区議控室 Tel 5742-6818
事務所 大井3-19-7-101
Tel 3773-3231

連続負担増、加速する雇用悪化、不景気

「もう、耐えられない」

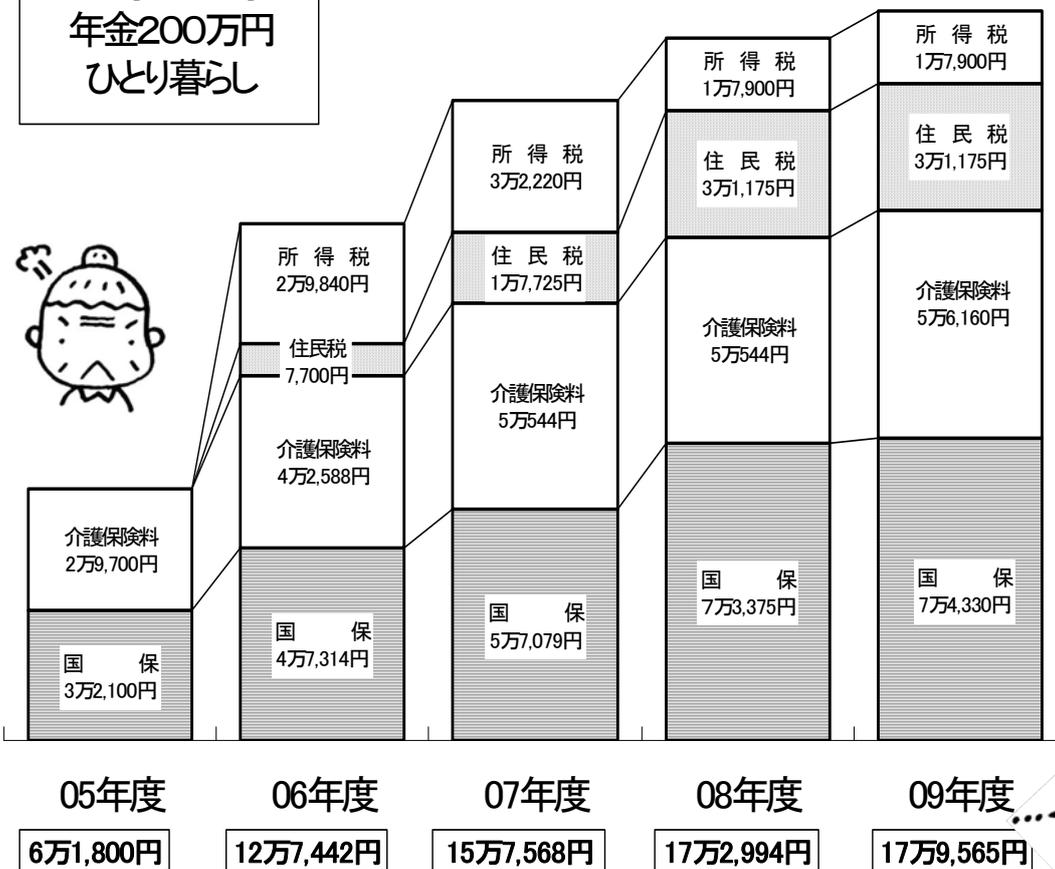
くらしと営業守るためがんばります

税制改定による、雪だるま式負担増

(介護保険、国保料、住民税、所得税)

2009年2月
日本共産党品川区議団作成

65才~74才
年金200万円
ひとり暮らし



予算議会が始まりました。左の表は、この間の負担増。その額は5年間で約3倍。区民からは「もう耐えられない」そんな声があるのも当然です。

共産党は税金の使い方を、今こそ暮らし優先に改めること。大崎駅前の巨大再開発より区民のくらしこそ最優先です。くらしと営業を守るためがんばります。

3倍
って

「派遣切り、正社員リストラ。 こうした大企業をどう考えるのか」

濱野区長「企業が、どうあるべきかは、品川区の仕事では無い」

「痛み」に目を向けない 濱野区長

議会の初日。共産党は代表質問で濱野区長に経済危機、雇用悪化を問いました。

昨年末の国内GDPが▲12%。アメリカ▲3%。ヨーロッパ▲5%と比べても急激な落ち込み。町工場は「仕事がない」と悲鳴があがっています。

小泉「構造改革」のもと、大企業がもうかれば国民にその恩恵が回ると政府は大宣伝。「痛みの先には希望ある未来がある」と庶民増税・負担増を強行。自助努力が大切と、福祉予算を大幅カットしました。

しかし、区民の暮し

には政府が描いたような「恩恵」は全く無く、実際は底が抜ける厳しい生活です。共産党がこの経済危機を問うと、濱野区長は、世界的規模で拡大していると答弁。区民の生活実態やその原因への言及はありませんでした。



また、大企業の利益拡大のために莫大な内部留保金や株主への高額配当を温存させながら、派遣切り、正社員切りをひた走る企業姿勢を問うと、濱野区長は「企業の経営や雇用形態がどうあるべきかについては、品川の仕

事ではない」と答弁しました。

私は区長の答弁からは、区民のくらしに対する危機感は全く感じられません。くらし破壊の根底にある雇用問題については答弁を避けることは、自治体の長として恥ずかしいと思います。

駅前再開発には計1000億円

区民のくらしには冷たい一方、とても熱心なのは駅前の再開発事業です。

区は、これまでも1千億円もの税金を投入し、大崎駅前などに高級マンションやオフィスビルなどを建設。今度は「国際都市品川」を看板に拡大しようとしています。新年度予

算では、いよいよ区内最大規模の北品川再開発を推進。広さ3.6層2棟を含む計7棟のハコモノ。マンション856戸やオフィスの建設を目指しています。総事業費1324億円。税金からの補助金は264億円。目を疑う巨大な建設と税金投入が続きます。

区は「3月の事業認可をめざす」と説明しますが、税金使ったの大企業・ゼネコン支援は中止し、今こそ税金は区民のくらし、営業を守るために使うべきです。

予算議会が始まりました。私は厳しくチェックしたいと思います。

なかつか亮